

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、着実に回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は底堅く推移しており、住宅投資は一進一退の状況にある。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・基調としては持ち直し

4月の公共工事請負金額は、市町村は増加したものの、都道府県、独立行政法人等が減少したため、全体では9か月ぶりに前年を下回った（前年比▲30.1%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
山形県	▲0.3	33.4	96.6	5.2倍	91.7	▲30.1

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・増加

3月の建築着工床面積（民間非居住用）は、電気・ガス、運輸などは増加したものの、製造業、卸・小売などが減少したため、全体では2か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲37.3%）。3月短観における2017年度の設備投資計画（全産業）は、2年連続で増加する計画（前年度比39.0%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
山形県	2.7倍	▲57.9	47.1	12.3	▲29.8	▲37.3

<資料>国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2017年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2015年度(実績)	2016年度(計画)	2017年度(計画)
全産業	▲9.8	15.5<▲8.4>	39.0
製造業	▲22.3	3.4<▲29.1>	2.1倍
非製造業	12.1	30.2<27.5>	▲28.1

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費 …… 底堅く推移

3月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、衣料品などが前年を下回ったことから、全体では3か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲1.7%）。

家電販売は、季節家電などが増加していることから、前年の水準を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 7～9月	10～12月	2017年 1～3月	2017年 1月	2月	3月
全店	1.9	2.7	▲1.8	▲1.9	▲2.5	▲0.9
既存店	1.9	2.8	▲1.6	▲0.8	▲2.4	▲1.7

〈資料〉経済産業省

4月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、7か月連続で前年の水準を上回った（前年比12.2%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
乗用車 (含む軽)	▲2.4	▲2.0	18.6	5.0	7.5	12.2
乗用車 (除く軽)	10.3	2.8	16.3	8.3	12.6	10.2

〈資料〉東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資 …… 一進一退

3月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の何れも減少したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲20.1%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
山形県	▲6.1	▲7.6	6.2	▲26.6	2.9	▲20.1
持家	▲9.2	▲6.7	30.1	6.7	▲4.1	▲6.3
貸家	34.1	▲8.1	▲14.6	▲47.7	25.4	▲54.8
分譲	▲45.7	▲11.8	23.3	▲54.0	▲2.3	▲8.5

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月連続で上昇した（前月比4.7%）。業種別には、情報通信機械、プラスチック製品など9業種は低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなど13業種は上昇した。

2月の在庫指数（季節調整済）は、3か月ぶりに低下した（前月比▲1.6%）。

（図表7）鉱工業指数

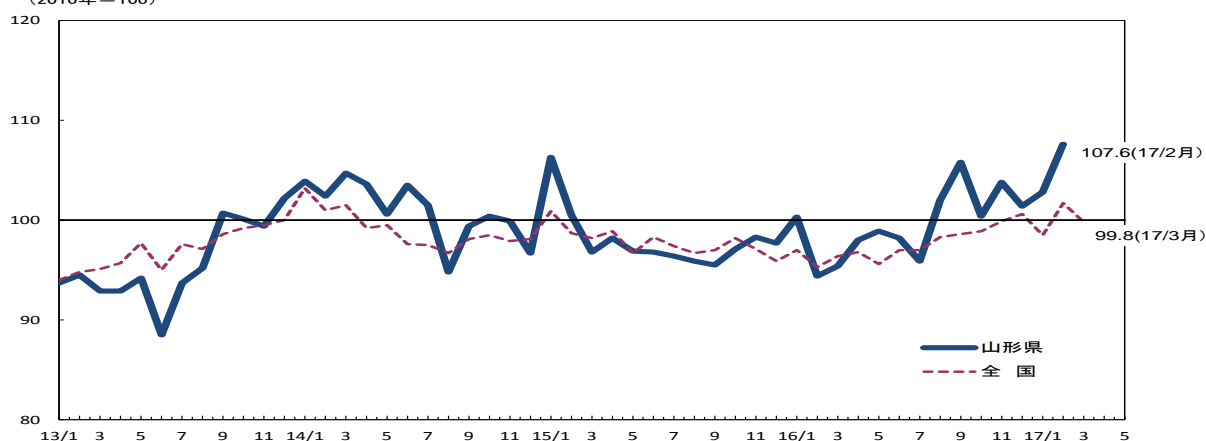
2010年基準

山形県		2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
生 産	季節調整済前月比%	1.1	▲0.7	3.7	▲2.3	1.4	p 4.7
	原指数前年比%	▲1.1	0.5	11.5	2.8	3.4	p 11.6
在 庫	季節調整済前月比%	1.4	▲2.8	▲1.5	1.3	3.0	p ▲1.6
	原指数前年比%	3.3	▲3.3	▲1.4	1.8	2.2	p 4.3

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2010年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

3月の有効求人倍率は、1.44倍となった。業種別には、運輸、金融・不動産等の新規求人は減少したものの、製造業、医療・福祉などは増加した。3月の雇用保険受給者は、11か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲12.5%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2016年 7～9月	10～12月	2017年 1～3月	2017年 1月	2月	3月
有効求人倍率	1.31	1.38	1.42	1.42	1.41	1.44
有効求職者数	〈▲6.2〉	〈▲4.7〉	〈▲7.3〉	〈▲6.2〉	〈▲7.3〉	〈▲7.3〉
有効求人数	〈2.6〉	〈11.2〉	〈6.2〉	〈10.4〉	〈7.5〉	〈6.2〉
完全失業率	2.2	1.9	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲6.6〉	〈▲3.1〉	〈▲12.5〉	〈▲4.5〉	〈▲10.7〉	〈▲12.5〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

2月の常用雇用指数は、6か月連続で前年の水準を上回った（前年比0.4%）。業種別には、サービス、建設などは前年の水準を下回ったものの、生活関連サービス、宿泊・飲食などは前年の水準を上回った。

2月の所定外労働時間は、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比1.4%）。業種別には、運輸、生活関連サービスなどは前年の水準を下回ったものの、製造業、建設などは前年の水準を上回った。

(図表10) 雇用関係指標 (その2) 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
常用雇用指数	0.5	▲0.2	0.1	0.8	0.3	0.4
所定外労働時間	1.9	3.9	▲3.7	▲6.1	0.4	1.4

<資料>山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

2月の現金給与総額(名目賃金指数)は、卸・小売、教育・学習支援などは増加したものの、運輸、医療・福祉などは減少したため、3か月ぶりに前年の水準を下回った（前年比▲0.6%）。

2月のきまって支給する給与は、概ね前年並みの水準となった（前年比0.1%）。

(図表11) 所得関係指標 2015年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
現金給与総額 (名目賃金指数)	0.2	0.7	0.1	0.1	3.2	▲0.6
きまって支給 する給与	▲0.4	▲1.6	▲1.5	▲1.4	0.9	0.1

<資料>山形県企画振興部

(注) 2016年12月以前は2010年基準の前年比を掲載。

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

4月の企業倒産(負債額10百万円以上)は、件数(1件)、負債総額(1.0億円)とも前年(4件、11.7億円)を下回った。

(図表12) 企業倒産 件、億円

山形県	2016年 6月	9月	12月	2017年 2月	3月	4月
件数	4	5	2	2	4	1
負債総額	3.8	16.9	32.5	4.1	4.2	1.0

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

3月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った(前年比0.9%)。費目の内訳をみると、保健医療は前年を下回ったものの、生鮮食品を除く食料、光熱・水道などは前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2016年 6月	9月	12月	2017年 1月	2月	3月
総合	▲0.6	▲0.6	0.3	0.8	0.4	0.8
生鮮食品を除く総合	▲0.5	▲0.6	▲0.1	0.6	0.5	0.9

〈資料〉山形県企画振興部

7. 金融

(注) 3月計数が未入手のため、下記の説明文は先月と同一。

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比1.0%)。

2月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比3.1%)。

この間、2月の貸出金利は低下した(前月比▲0.001%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2016年 3月	6月	9月	2016年 12月	2017年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	1.3	1.2	1.0	0.9	0.4	1.0
貸出金 (末残前年比)	3.6	3.6	3.7	2.8	2.7	3.1

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2016年 4~6月	7~9月	10~12月	2016年 12月	2017年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.038	▲0.020	▲0.015	▲0.006	▲0.003	▲0.001

2月末水準
1.093%

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004